

# 港湾整備事業

東北海道は、酪農に適した冷涼な気候・広大な大地や寒流・暖流の混ざり合う好漁場を有する地域であり、全国有数の生乳生産量や漁業生産量を誇り、我が国の食料供給基地として非常に重要な役割を果たしています。根室港では、根室市を含む道内6管理者により農水産物輸出促進計画が策定され、平成29年5月に農水産物輸出促進基盤整備事業に関わる連携水揚港湾として認定、釧路港では平成31年3月に西港区において大型船舶による穀物の大量一括輸送を可能とする国際物流（バルク）ターミナルが供用を開始したほか、島防波堤の背後に浚渫土を有効活用した盛土による浅場を造成し、防波堤構造物の安定性向上を図るとともに、盛土上にブルーカーボン生態系となる藻場を創出するなど脱炭素化への取組みも進めています。

港湾整備では、引き続き東北海道と本州方面や海外との更なる物流効率化や輸出競争力強化を図るとともに、激甚化する風水害への対策として、港湾における高潮、高波対策や老朽化対策など国土強靱化に向けた対策の加速化を図っていきます。

## 釧路港

西港区では、港内静穏度向上を目的とした島防波堤や新西防波堤の整備と大型貨物船などの船舶の安全な入出港を確保するため、航路及び泊地の浚渫を実施します。

東港区では安全な荷役環境を確保するため、老朽化した西防波堤の改良を実施します。



西港区 新西防波堤整備状況

## 十勝港

本港地区では、飼料原料を運搬する大型貨物船などの船舶の安全な入出港を確保するため、航路の浚渫を実施します。

外港地区では、漁船等の安全な利用を確保するため、泊地浚渫を実施します。



本港地区 航路浚渫状況

## 根室港

花咲港区では、新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応し、安全・安心な荷役環境を確保するため、屋根付き岸壁の整備を実施します。



花咲港区 水深5.5m岸壁整備状況

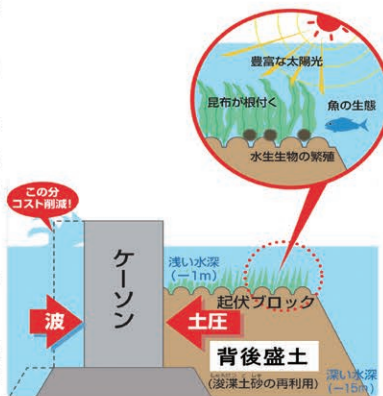
港湾整備事業の概要		
港湾名	地区名	事業の概要
重要港湾 釧路港 (国際バルク戦略港湾)	西港区 東港区	島防波堤、新西防波堤、水深14m航路・泊地 西防波堤改良
重要港湾 十勝港	本港地区 外港地区	水深14m航路、水深13m航路 水深2m泊地
重要港湾 根室港	花咲港区	水深5.5m岸壁改良、水深6m岸壁改良

## 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組み～ブルーカーボン\*による脱炭素社会への貢献

釧路港の島防波堤では島防波堤の港内側に浚渫土を有効活用した盛土による浅場（水深1～3m）を造成しています。これにより、防波堤の整備コストや浚渫土の処分コストを削減するとともに、光合成を行える浅場が創出され、多様な海藻類や魚介類の生息の場（ブルーカーボン生態系）となっており、CO<sub>2</sub>吸収源としての効果を発揮しています。

引き続き、このような藻場の創出に取り組み、ブルーカーボンによる脱炭素社会の実現に貢献します。

\*ブルーカーボンとは、海藻等の海の生物により取り込まれる炭素量のこと、海水中に溶け込んだCO<sub>2</sub>を海藻等による光合成により吸収し、枯れた後に海底への埋没等で炭素を貯留する効果があります。



浅場の造成イメージ



浅場の起伏ブロックによる藻場の生育状況